

公民館だより なかがわ

第522号

令和8年5月8日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「みそ作り教室」



日時：6月9日(火) 10:00~12:00頃
場所：中川地区公民館 集会室
講師：石井伊惣治商店(十日町)
内容：出来上がり量が1口5kgのみそを作ります。
何口でも構いません。
申込時に口数をお伝え下さい。
今年も、麹3割増しで作ります！

材料費：1口2,500円
(※つり銭のないようにお願いします)
持ち物：レジャーシート(一人用)、エプロン、
三角巾、手拭きタオル、飲み物
みそを持ち帰るための蓋つきの容器
(内容量1口7kg以上の容器をご準備下さい。)

定員：先着25名程度
対象：中川地区民
締切日：定員になり次第締め切り



毎年好評です!!
おいしい手作りみそを作ってみませんか?
今回作ると、秋頃に食べられます。

参加者募集



中川地区グラウンド・ゴルフ大会

日時：5月23日(土) 9:00~12:00頃
場所：中川地区公民館前広場
参加料：無料
対象：小学1年生から一般までの中川地区民

※詳しくは、地区回覧・小学校配布のチラシをご覧ください。

中川地区食生活改善推進協議会主催

「笹巻き作り講習会」

日時：6月2日(火) 10:00~12:00頃
場所：中川地区公民館 実習室(調理室)
参加費：無料
対象：中川地区民(男性もぜひ!!)
定員：先着10名
持ち物：エプロン、三角巾、持ち帰り用容器



◎作った笹巻きはお持ち帰りできます!

※詳しくは、地区回覧のチラシをご覧ください。

お申込み・お問合せ：中川地区公民館(☎679-2501)

5月・6月 行事予定



5/1(金) 三者会、中川地区会長会
公民館運営協議会
5/8(金) 市報、館報
5/11(月) 第2回福祉村実行委員会
5/15(金) そば打ち愛好会、防犯協会中川支部総会
5/19(火) 一般講座「押し花でガラスのコスター作り」
5/22(金) パソコンクラブ
5/23(土) 中川地区グラウンド・ゴルフ大会
5/26(火) 粋いき倶楽部開講式
5/29(金) ウォーキング教室(職員不在時間帯あり)

6/2(火) 食改主催「笹巻き作り講習会」
6/3(水) 三者会、中川地区会長会、公民館運営協議会
6/5(金) 市報、館報、公民館職員合同研修会(職員不在時間帯あり)
6/8(月) 主事部会
6/9(火) 一般講座「みそ作り教室」
6/11(木) 自衛消防訓練
6/12(金) そば打ち愛好会
6/13(土) 蔵王山頂清掃とつつじまつり
6/15(月) ~17(水) 笹巻き宅配事業
6/17(水) 福祉村だより編集委員会
6/19(金) ウォーキング教室、防犯協会中川支部幹事会
6/23(火) パソコンクラブ
6/26(金) 粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)

グラウンド・ゴルフ愛好会

(月曜日) 5/11、18、25
詩吟教室(火曜日) 5/12、19、26

ラージピンポン愛好会(木曜日) 5/7、14、21、28
スポーツ麻雀愛好会(木曜日) 5/7、14、21、28

令和8年度の事業計画スタート

《 中川地区会 》

中川地区戦没者追悼式
中川地区新年祝賀会
笑い与健康のつどい

《 福祉村関係 》

蔵王山頂清掃とつつじまつり
やすらぎ宅配「笹巻き事業」
中川福祉村大運動会
福祉村文化産業まつり
中川福祉村施設訪問

《 主事部・体育部 》

中川地区グラウンド・ゴルフ大会
中川地区さわやかコンサート
中川地区ソフトボール大会

《 防犯協会中川支部 》

防犯協会中川支部総会
中川地区夏の安全パレード
中川支部防犯診断
防犯協会中川支部研修会

《 子ども会育成会 》

わんぱく広場「花火祭り」
中川地区少年少女球技大会
しめ飾り作り
冬に遊ぶ会

《 高齢者対象 》

中川粋いき倶楽部
高齢者教室（軽スポーツ大会、研修旅行）

《 公民館単独 》

詩吟教室
そば打ち愛好会
パソコンクラブ
ウォーキング教室
グラウンド・ゴルフ愛好会
ラージピンポン愛好会
スポーツ麻雀愛好会
しめ飾り作り
一般講座
単発講座

中川地区公民館運営協議会総会

令和8年度の中川地区公民館運営協議会総会が4月3日（金）に開催されました。今年度の協議会会長には鈴木 章氏（甲石）、副会長には閉伊口 好晴氏（高野）が選任され、各地区会長14名と公民館館長の協議会役員により、令和8年度事業計画・予算について承認されました。中川地区がますます活性化するように皆様方のお力をお借りしながら役職員一同がんばっていきたくて思っております。是非、公民館事業に積極的にご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

中川地区合同懇談会



4月3日（金）「令和8年度中川地区合同懇談会」が開催されました。小中学校・民生児童委員協議会・消防団・警察署など中川地区関連の方々、中川地区会長、中川福祉村、公民館職員、総勢26名が一堂に会し、中川地区会長会の鈴木 章会長のあいさつに始まり、それぞれ自己紹介および今年度の活動方針などを伝え、顔合わせとなりました。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

中川地区戦没者追悼式

4月17日（金）地区会長会主催の「中川地区戦没者追悼式」が開催され、各地区会長、来賓の方々にご臨席いただき、戦没者の御霊を供養いたしました。現在の平和と繁栄は多くの尊い犠牲の上に築かれていることを、私達は後世に継承していかなければなりません。毎年行われている「中川地区戦没者追悼式」を通して、改めて戦争による悲しみを思い、幸せな毎日を過ごせる大切さを考える日になればと思います。



第66回中川福祉村村議会



4月20日（月）「第66回中川福祉村村議会」が開催され、多くの方々にご出席いただきました。木村 義博村長のあいさつに始まり、令和8年度事業計画及び予算案がそれぞれ承認されました。今年度も蔵王山頂清掃とつつじまつり、やすらぎ笹巻き宅配事業、大運動会、文化産業まつりなど多くの事業を予定しています。昨年は福祉村50周年記念式典の開催と記念誌の発行で節目の年となりました。今後も福祉村として交流の輪をさらに広げていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

各教室 始まりました!

ウォーキング教室

会員 20 名。テラポイントガイドは、昨年
に引き続き高瀬さんです。初回は、地元
みゆき公園・茂吉記念館へ！春の心地よ
い空の下、ゆっくりと歩いてきました。
所々の満開の桜と菜の花と色々な花々
が咲いてとても綺麗でした。春の息
吹を感じられたコースでした。



パソコンクラブ

会員 12 名。最初は Word の文字
入力！和気あいあいと学びます。



詩吟教室

会員 6 名。講師 齋藤 陸州氏。
詩吟が大好きな仲間です。



グラウンド・ゴルフ愛好会

会員 38 名。今年度も元気に
楽しくプレイしましょう～!



ラージピンポン愛好会

会員 31 名。暑い時も寒い時も、
皆さんピンポンを楽しんでいます。



スポーツ麻雀愛好会

会員 23 名。いつも楽しそうな
笑い声が聞こえてきます♪



そば打ち愛好会

会員 16 名。みんなで教えあい
ながら、そばを極めます!!



第1回子ども会育成会連絡協議会

4月6日(月)上記会議が開催され、今年度の会
長、副会長2名を選任し、事業計画について協議し
ました。今年度も、わんぱく広場として、少年少女
球技大会、花火祭り、冬に遊ぶ会、中川福祉村大運
動会など、多くの事業
で、子どもたちの為
にご協力いただき
ます。1年間どうぞ
よろしくお願いいたします。



第1回体育部会

4月13日(月)上記会議が開催され、今年度の体
育部の部長、副部長を選任し、事業計画、予算案につ
いて協議しました。今年度も、体育部主催のグラウン
ド・ゴルフ大会、公民館共催のソフトボール大会、
また、福祉村事業の
中川福祉村大運動
会など多くの事業
でご協力いただき
ます。1年間どうぞ
よろしくお願いいたします。



写真撮影・掲載について

公民館事業の中で、活動の様子などを公民館の職員が写真撮影し、一部撮影した写真を館報(公民館だより)に
掲載する場合があります。また、館報は市のホームページにも掲載されますので、あらかじめご了承下さい。

「昭和考、問わず語り（その63）」

甲石地区 高橋 正之

アメリカは、日本の南進政策に対抗し、昭和一六年（一九四一年）八月一日、石油の対日全面禁輸を履行します。以後十二月八日の開戦までの約四ヶ月間、アメリカと外交交渉で解決を図ろうとする近衛首相と陸軍を代弁する東條英機陸相との対立で推移します。本稿では、アメリカによる石油全面禁輸に対する近衛首相等の対応について記述します。

〈石油がなくなるなら、機先を制して〉

昭和十六年八月以後の日本社会は、軍人たちのヒステリックな声が大きくなっていった。石油の全面禁輸を受けて、軍事指導者は自分たちの側の見通しの甘さを自省するよりも、石油がなければこの国は滅びるとの恐怖感に支配されていた。我々の存亡の要所をアメリカが絶とうとしているとの認識だった。

この時の日本の石油備蓄量は、消費量から換算すると一年半が限界であった。陸軍省の政策担当将校と海軍省の将校たちの中からは、「日本は座して滅亡を待つべきか」「まだ余裕のあるうちに対米戦を挑み、東南アジアの石油資源の確保を目指すべきか」という論が次第に大きくなっていった。

近衛首相は、ルースベルト大統領との首脳会談で事態を解決しようと考えていた。一方、軍事指導者は、首脳会談で事態を解決するという発想が全くなかった。

〈近衛首相が日米首脳会談に動く〉

東條が軍内の開戦と言う強硬路線を代弁する中、近衛は、野村駐米大使に首脳会談開催の提案をルースベルトに伝えるよう訓令を出した。近衛は、日米首脳会談について海相の及川古志郎と陸相の東條に相談をした。及川は、全面的に賛成と答えたが、東條は「即答できない。陸軍省に持ち帰って検討してみたい」と答えた。近衛は、「ここに及んで、首脳会談で状況を変えたい。このままでは戦争になるのではないか」と説得したという。

〈軍が日米会談に反対〉

東條は、陸軍省で軍務局長の武藤章、軍務課長の佐藤賢了、軍務課の高級課員である石井秋穂の三人

と相談した。武藤と石井は「近衛の意欲を評価すべきだ」と賛意を示した。だが佐藤は「三国同盟を結んでいるのだからアメリカとの和睦はドイツへの信義に反する」と言い、東條もその意見に傾いていた。

東條は、自らの意見を文書にまとめ、近衛に提出した。そこには、以下のような凄まじい一節が含まれていた。

「（ルースベルト大統領が）依然現在取りつつある政策を続行せんとする場合には、断乎対米一戦の決意を以て之に臨まざるに於いては、陸軍としても敢えて異存を唱うに非ず」交渉が失敗したら、「対米戦争の陣頭に立つ決意をせよ」とまで書いています。つまり、こちらの言い分が通らなければ、交渉などしなくてよい、すぐ対米戦争を決意せよと近衛に詰め寄ったのである。

それでは、東條が即時開戦を望んでいたのか、という点必ずしもそうではなかったという。前述した軍務課員として近くにいた石井秋穂氏は、戦後になり次のように言っている。

「近衛さんがルースベルトに会ったら、三国同盟からの離脱、中国からの撤兵などを突き付けられ、お上（天皇のこと）のお許しを得て大譲歩すると疑っていた。それを懸念して強腰を求めたと思う。」

〈アメリカが日米会談を提案、英国との間で密約〉

昭和十六年八月十七日、近衛の訓令を受けた野村駐米大使がルースベルトに会ったところ、ルースベルトは改めて日本の南方進出に警告を発するとともに、「首脳会談、それは結構なことだが、近衛首相は、日本の立場を明確にする必要がある」と付け加え、会談場所としてアラスカはどうかと述べた。野村大使は、このやり取りを詳細に政府に送り、「この会談を成功させ、日本は和平の道を選ぶべきである」と自らの心情も強く訴えた。

近衛は、この電報を読んで喜びを隠さなかった。東條は近衛の喜びを不快げに見ていたが、会談が行われれば、軍務局長の武藤章等が随行団に加わるよう指示し、首脳会談に應じる体制を整えていた。しかし、ルースベルトは、野村大使が会う直前、

イギリスのチャーチル首相と八月九日から十二日まで密かに首脳会談を行っていた。ドイツのソ連侵攻にどのような態度をとるか、日本とはどのような戦略のもとで外交交渉を続けるかを話し合っていた。

結論は、独ソ戦ではソ連側に立つ、ナチスドイツの壊滅を目指す。そしてさしあたり日本に対しては摩擦を起こさない、しかし日本軍の武力侵攻は許さないとというのが米英の当面の方針となった。歴史上では「大西洋憲章」と評され、連合国側の国々が賛意を示すことになった。（本文は、保坂正康著「陰謀の日本近現代史」朝日新書より。写真①は、昭和十六年四月から始まった米穀配給制に集まる市民の様相。写真②は、昭和十五年十月、東京築地で行われた防災訓練の様子。いずれも「昭和2万日の全記録」講談社刊より）

（次回は、米国の日米首脳会談への見解と軍の反発について述べる予定です。）



(写真①)



(写真②)